

5月24日のNHK報道の背景

藤井大輔・仲田泰祐

5月27日

1. 事実関係

5月21日(金)

- 「五輪開催の感染への影響：定量分析」を Website に掲載

5月23日(日)

- Zoom 説明会で「五輪開催の感染への影響：定量分析」を解説。質疑応答。

5月24日(月)

午前

- Zoom 説明会での議論を元に、メインの図に注意喚起的なリスクシナリオを追加することを決定

午後

- リスクシナリオ追加のための作業開始。4%、6%、10%等様々なリスクシナリオを検討。それぞれの妥当性を検討。
- 10%をリスクシナリオとして、NHK に渡す (17時15分)。NHK には、これが最終である事を伝え使用許可を出す。
- 6%に方針変更。NHK に渡す (17時39分)。だが、締め切りに間に合わず10%が報道で使われる。
- [リスクシナリオ追加版]「五輪開催の感染への影響：定量分析」を Website に掲載
- ウェブで「五輪で人流10%増なら都内感染3倍か 東大グループ試算」という見出しで、記事が掲載される

5月25日(火)

午前

- 仲田が Twitter で「五輪で人流10%増なら都内感染3倍か 東大グループ試算」という見出しで分析が紹介されていることに気が付く。

午後

- 藤井・仲田がNHK記者に連絡。見出しの変更と、最終版である6%の図に変更するよ

うに要求

- NHKが要求を受け入れて、見出しの変更・6%の図に変更。
- Zoom 説明会で、仲田が参加者にいきさつを説明。(事前に NHK の方に、そのような説明をすることは伝えて同意を得ている)

5月26日(水)

- NHKに「(5月25日)「Covid-19と経済活動」最新分析のZoom解説と質疑応答」の内容確認を依頼。Website掲載の同意を得る。
- 「5月24日のNHK報道の背景」の原稿完成
- NHKに文書の内容確認を依頼。

5月27日(木)

- Website掲載の同意を得る。
- 「5月24日のNHK報道の背景」、「(5月25日)「Covid-19と経済活動」最新分析のZoom解説と質疑応答」をWebsiteに掲載。

2. このようなことが起きた2つの要因

A. 短期間で慌てて分析したものをメディアに渡してしまった

月曜日の午後は、日曜夜のZoom説明会の議論を消化する中で、メインの図にリスクシナリオが無いことで「海外入国の影響は限定的。従って、五輪開催は無条件に大丈夫」とい誤解をされるリスクがある事に気が付き、「早くリスクシナリオを追加したものを作って修正版として公表したい」という焦りがある中で作業をしていました。そして、十分に考え切れていないまま、10%という「かなりひどいケース」をNHKに渡して使用許可を出してしまいました。

NHKの記者の方は、毎回Zoom説明会に参加し、藤井・仲田分析をきちんと理解してくれています。したがって、10%が使われることになったことで後味が悪かったものの、分析の本質である「海外入国の影響は限定的。感染増加抑制には国内在住者の人流増加抑制が鍵」というメッセージをきちんと伝えてくれるであろう、という安心感もありました。

B. 記事・原稿を書く人と記事の見出しを付ける人が違うこと

実際に、NHKの原稿・記事ではきちんと「海外入国の影響は限定的。感染増加抑制には国内在住者の人流増加抑制が鍵」という点を説明してくれています。

しかしながら、多くの読者は多忙なため、記事の見出しで記事の主旨をある程度判断されているとの理解です。同じ内容の記事が NHK 首都圏 News Web では「新型コロナ 東京五輪では人の流れ極力抑制を 東大グループ」という見出しで出ていますが、この記事を見て不快に思った方々は相対的にはかなり少ないのではと推測しています。¹

世間を騒がせた NHK のメインの Website では、記事の内容は同じでも「五輪で人流 10% 増なら都内感染 3 倍か 東大グループ試算」という見出しがつけられたため、分析から出てくる「海外入国の影響は限定的。感染増加抑制には国内在住者の人流増加抑制が鍵」というメッセージが伝わらず、あたかも「五輪を開催したら感染爆発するので、五輪は中止すべき」というメッセージの分析と誤解されてしまった、と理解しています。

先ほど申し上げた通り、記事を書いた方はこの五輪分析の内容とそこから出てくるメッセージをきちんと理解してくれており、このような見出しを提案していません。見出しをつけた方が、五輪分析をきちんと理解しつつ、しかしながらその他さまざまな要素を考慮した上でこの見出しをつけたのか、それともあまりきちんと理解せずに安易にこのような見出しをつけたのかは、わかりません。ただ、この見出しをつけた方と藤井・仲田の間に何かしらの関係性があれば、このような見出しがつくことは無かったであろうと推測します。²

3. このようなことが起きないようにこれから気を付けること

我々の不注意により、NHK に迷惑をかけ、また世の中を騒がせてしまったことに対して深くお詫び申し上げます。今後は以下の 2 点を心がけて活動していきます。

A. 今後は、分析結果を出してからメディアとその結果を共有するまでに最低 24 時間の間をあけるという方針を採用したいと思います。そうすることにより、今回のようなミスが生まれる確率を減らすことが出来ると思います。³

¹ <https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20210524/1000064828.html>

² 「記事・原稿を書く人と記事の見出しを付ける人が違うこと」は NHK 特有の慣習ではないことには言及させて下さい。この違いによって、「記事自体にはこちらの意図がきちんと反映されているけれども、見出しの印象でこちらのメッセージが伝わらなかった事」が何度かありました。全く同じではありませんが、テレビの世界でも同様の壁があって、それは「我々に取材をする人と原稿を書く人が必ずしも同じではないこと」です。

³ 毎週の分析更新では月曜日の深夜に完成させたものを、火曜日の午前中に Website に公開するというこれまでのスケジュールを変更しません。毎週更新の内容がセンセーショナルに報道されるリスクは低いと考えられること、また毎週更新でこの方針を採用すると、藤井・仲田・数名のアシスタントで現在行っている作業に支障が出てしまいます。

B. 今後は、今回の五輪分析のように Sensitive なトピックの場合には、可能な限り記者の方に見出しの最終確認を行って、こちらの意に反したものではない事を確認するように、お願いします。また、必要に応じて「見出しのトーンとしてこのようなものが適切だと思う・このようなものは不適切だと思う」といったことを具体的に報道関係の方々に提示していきたいと思います。場合によっては見出しを付ける人と直接連絡を取り合うことをお願いする予定です。

4. 最後に

五輪に関する様々な議論が行われている中、定量的な分析というものが一つも出てこなかったという理解をしております。そんな中、不完全ではありますが「五輪が感染・医療体制にどのような影響を与えるか」という分析が一つでも存在すれば、議論が少し具体的になり、また最終的にどのような方向に進むにしても、少しでも多くの人々が納得感をもって先に進むことができるのでは、という想いでこの分析を開始しました。

どのような分析をするか、いかに分析結果を発信をするか、という点に関して何度も何度も議論を重ねました。公表数日前に各関係者に分析を見てもらい、様々な方々に Feedback を頂き、何度も修正を重ね、これで大丈夫だろう、とある程度思えた状態で5月21日の公表にたどり着きました。

ありがたいことに、NHKの報道以外での全ての報道（文字・映像両方）で、センセーショナルな見出しを付けられることなく、分析の最重要メッセージ「海外から10万人入国自体の影響は限定的。感染増加抑制の鍵は国内在住者の人流増加抑制」がきちんと視聴者に伝わっていると思います。そして、政府・メディア・一般の方々から、「我々も同じような認識であり、とても納得感がある。非常に参考になる。このような分析を見ながら議論がしたかった。」等のお言葉を頂いております。

資料にも記述した通り、五輪開催に対する感情は様々でありまた複雑です。反対の人もいれば賛成の人もいます。強く反対（賛成）の人もいれば、弱く反対（賛成）の人もいます。条件によっては賛成の人もいれば、条件によっては反対の人もいるかもしれません。ただ、最終的には一つの方向に進まなくてははいけません。どのような方向に進むにせよ、「少しでも多くの人々が納得感をもって前に進めること」に我々の分析が多少なりとも貢献できれば幸いです。

Appendix

5月24日のNHK（全国Web）の見出し

五輪で人流10%増なら都内感染3倍か 東大グループ

他社・多媒体の見出し

NHK（首都圏Web）：新型コロナ 東京五輪では人の流れ極力抑制を 東大グループ

産経：五輪選手ら入国の影響「限定的」 東大院准教授ら感染者試算

日経：五輪入国「感染増は限定的」 国内の人流抑制は必要 東大准教授ら推計

朝日：五輪による感染拡大、入国者よりも「人出の抑制がカギ」

共同通信（沖縄新聞）：五輪 人出抑制が重要 開催想定で東大チーム

テレビ朝日：五輪選手らの入国感染への影響「限定的」の試算